

2南 小児神経科・脳神経内科 病棟

役割/機能

- 療養介護サービスの提供・治験
- 小児神経科と脳神経内科の筋ジスが主な混合病棟
- 患者様の年齢層が幅広い(4歳から80歳代)
- 契約入院及び様々な入院(検査・レスパイト・治験・日帰り)の受け入れ



人工呼吸器装着患者さんの運動会参加

専門的な看護の実践！

- 人工呼吸器装着の患者さんが多数います
- 院内口腔・呼吸ケアスキルナーズが活躍
- 治験で先進医療に貢献



他職種の間わり

- 医師・看護師
- リハビリスタッフ
- 療養介助職、保育士
などが協力し合っています



アピールポイント

患者さんと医療職チームの
「和」を大切にしています

2北 脳神経内科（神経難病等）病棟

役割/機能

- 療養介護サービスの提供
- 神経疾患の検査や治療、積極的な退院支援の実施
- 血液浄化療法という専門的な治療の実施



患者さんを笑顔にする看護があります

患者さんは疾患との長いつきあいになります。
日々の看護を通し、「ありがとう」「楽になった」と言っていたいた時、
看護師としてのやりがいを感じます。

退院後の生活を見据えた支援体制があります

多職種チームと連携し、本人・家族の意向に沿いながら安心できる暮らしの場へ
お帰りいただけるようお手伝いをしています。

アピールポイント

患者さんの退院後の生活を見据えてサポートします

3南 脳神経小児科・脳神経外科・総合内科 病棟

役割/機能

- 小児・成人のてんかんを中心に検査、手術が主の病棟
- 脳神経小児科、脳神経外科、総合内科の混合病棟
- 各診療科とも、専門的な治療や検査の実施
- 日本全国、海外からの患者さんを受け入れている



どんなことが学べるの？

- 乳幼児から老年まで、周手術期・急性期・慢性期の看護を幅広く学ぶことができます！
- 専門的・最先端の検査・治療を学ぶことができます。
- 幅広い職種とのチーム医療を学ぶことができます。

アピールポイント

- スタッフや医師・多職種とのコミュニケーション良好！
- 良い看護が提供できるように、先輩・後輩また職種を問わず、協力し合い日々前進しています。
- 相談しやすい雰囲気
- ワークライフバランスが保てる働きやすい雰囲気



3北 脳神経内科・外科・内科 病棟

役割/機能

- 神経難病の診断、治療
- 入院時から退院後の生活を見据え様々な関わり
- 呼吸器導入の指導の実施
- 幅広い医療と多様なニーズにこたえる看護の実施

人工呼吸器導入

年間60例の呼吸器導入の指導を行っています。



3北特有の病床

病院唯一の陰圧室が2床
集中管理室 4床

ケアカンファレンス

他職種で一人の患者さんのケアについて話し合ってます。



アピールポイント

- 明るくチームワークがよい元気な病棟
- 退院調整部門と連携し、入院早期から退院支援を実施

4南 脳とこころの総合ケア病棟

役割/機能

パーキンソン病をはじめとする神経変性疾患で精神的なサポートを特に必要とする方や、認知症、てんかんのように精神科領域と神経内科領域のそれぞれの専門性を生かし、患者さんの心身を総合的にケアするための病棟

目指す看護

- ADL維持・向上
- 身体ケアを行う中での精神的ケア(せん妄・認知症患者への行動制限を最小限にする看護)
- 神経難病と向き合う患者のこころのケア(確定診断前後での心の変化への対応・ケア)
- 入院中だけでなく、これから続くその人(患者さん)の人生や生き方を考える看護
- 家族の介護負担軽減に向けたケア・寄り添い
- CBTケア(考え方を少し変えることでできる生活へのヒント)

さまざまな取り組み

- 週1回の多職種カンファレンス
- てんかん長時間ビデオ脳波モニタリング
- 精神科医を含めた行動制限最小化カンファレンス
- 季節感を感じる装飾やイベントの開催
- 看護研究
- ペット型ロボットの導入



アピールポイント

多職種協働でよりよいケアを提供しています

4北 精神科救急急性期医療病棟(閉鎖)

役割/機能

精神科救急急性期医療病棟(閉鎖病棟)

- 精神科救急に対応し、24時間365日入院を受け入れております
- 難治性精神疾患の患者さんや措置入院の患者さんの受け入れも行っており、外国人患者への対応も行っています
- 住み慣れた自宅への社会復帰を目指し入院時から退院を見据えた支援を多職種でシームレスに提供できるよう心がけています
- 精神科作業療法部門と協働し、プログラムや病棟内OTを行っています



リハビリテーションの様子

アピールポイント

他職種が協働し、
精神科救急を行う
活気のある病棟です

5北 精神科(急性期・身体合併症・鑑定入院) 病棟

役割/機能

薬物療法、m-ECT(修正型電気けいれん療法)・r-TMS(反復経頭蓋磁気刺激療法)・MST(本邦初の磁気けいれん療法)、各種集団プログラム、休息のための環境保持といった様々な治療、看護ケアを行っています。

身体合併症も受け入れており、精神だけではなく、身体症状も注意深く観察し、ケアを実施しています。



カンファレンスの様子



多職種プログラムの様子

アピールポイント

多職種チームでしっかり連携し、一丸となり、患者さん自身が一步踏み出せるような精神医療・看護を提供しています。

6病棟 重症心身障害児・者 病棟

役割/機能

- **重症心身障害児者病棟**
- 一人一人の発達段階を見極め、個別性のあるケア・療育を行うために多職種で関わっています
- 積極的にレスパイト入院を受け入れています
- 院内口腔ケア認定看護師が多数活動し、患者さんのお口の健康を守っています
- 3歳から還暦まで幅広い年齢層の患者さんたちが生活している病棟です

アピールポイント

- 長期・短期入所者の日常生活支援を行っています
- 様々な合併症の予防、安全管理を心がけ、多職種と連携し個々の状況に合わせてサポートしています
- 季節を感じる行事を行っています



お誕生会です



分教室の授業風景



還暦のお祝いをみんな

8病棟 医療観察法 病棟

役割/機能

医療観察法に基づいて多職種チームで連携して早期の社会復帰を目指している

MDT: multi disciplinary team:多職種チーム

入院から
退院まで担当

各職種の専門性を
生かした関わり

看護師がリーダーシッ
プを取っています

疾病教育・内省深化・自己決定支援
セルフケア支援・レク・看護面接 etc...



「アトリウム」
閉鎖的空間にも開放感をもて
るようにしています



入院直後の治療方針から退院
後の生活までを、対象者を含
めた話し合いで決定



「お話しコーナー」
オープンに、いつでも対象
者さんが話しかけやすいよ
うにしています

アピールポイント

- アメニティーが充実しています
- 多くのスタッフが在籍し医療を提供しています



「2重のセンサー付きフェンス」
セキュリティ体制も大切

9病棟 医療観察法(身体合併)病棟

役割/機能 全国の医療観察法 唯一の身体合併症対応機能を持つ病棟



対象者と多職種チームによる調理訓練

アピールポイント
充実した施設・高いアメニティ
多職種連携による個別・専門的なチーム医療
研修体制の充実



m-ECTを病棟内で実施している



89病棟合同
包括的暴力防止プログラム研修



病棟内で体力や身体機能の
維持向上が可能



社会復帰促進のための
宿泊訓練施設

外来

外来看護の特徴

- 専門的診療の介助
- 救急患者や発熱患者の救急処置・ケア
- 治験の協力(採血・注射・観察など)
- 入院患者を対象とした外部医師による、耳鼻科、眼科、皮膚科などの診療介助
- 在宅で呼吸器を使用している方、在宅治療の注射処置の技術指導



救急外来

アピールポイント

スムーズな診療が提供できるよう
処置や検査の事前準備を怠らな
いよう努めています

脳神経内科・脳神経外科外来



小児外来



デイケアってどんなところ？ 役割/機能

- メンバーが自ら回復する力をみにつけ、社会参加できるように支援するところ
- 個々の目標に向かって段階的にリハビリを進めていくところ



利用者が自主的に作成した作品

スタッフは利用者の自主性を引き出す関わりをしています。

アピールポイント

- 常に他職種と仕事をしたり、地域支援機関と連携するため、多職種連携のプロになれる
- リハビリしていくメンバーの変化を目の当たりに出来る
- 退院後のケアを学ぶことで入院中から必要な支援もアセスメントできるようになる
- 「私だけじゃないんだ。勇気を持てる。」という患者さん同士のピア効果を見ることができ、スタッフもパワーがもらえる

園芸プログラムの様子
多職種で連携し、多面的な視点で利用者へ関わっています。



手術室・中央材料室

役割/機能

- 脳神経外科・総合外科・整形外科・
歯科・小児神経科・神経内科の手術
- 精神科m-ECTの実施
- てんかん手術の実施
(乳児から大人)



手術室の入り口は季節の行事等を取り入れたデザインでスタッフで飾っています。

手術前の
器械準備風景➡



アピールポイント

患者さんの手術への不安を最小限にするために全ての手術前に術前訪問を行っています。

入退院支援室

< 退院支援部門 >

- 病気や障害を抱えていても、安定した在宅生活が送れるように、必要な制度やサービスを調整します。
- 主治医、病棟看護師、リハビリスタッフなど多職種ともに支援します。
- 地域の支援者とも連携し、継続したケアがスムーズに受けられるように橋渡し役を担います。
- 在宅生活での問題や悩みを患者・家族とともに一緒に考えていきます。



< 入院支援部門 >

- 入院を予約された患者さんに入院生活について説明し、患者さんの不安の解消を目指しています。
- 入院前に患者さんからこれまでの経過や生活状況をお聞きし、病棟に申し送りをするすることで、入院早期からスムーズな看護・ケアにつないでいます。
- 必要時、栄養科や薬剤科などの多職種と連携し、医療安全の向上に努めています。
- 退院後も地域で安心した生活を送れるように入院前からサポートしています。



臨床研究・治験推進室

役割/機能

新しいお薬を創る(治験)支援



「治験ふれあい週間」
治験のこと、多くの人に
知ってもらいたい！



多職種で働いています

室内はいつも明るくにぎやか！
仕事もきっちりやっています！



アピールポイント

薬剤師や臨床検査技師とお互いの強みを
活かして働いています。